

環境安全活動概況

UBEグループでは、環境安全中期方針を推進するために、PDCAサイクルを回すことにより、活動の改善を図っています。

2022年度評価：概ね達成

	2022年度 活動計画	2022年度 活動実績
共通	安全文化の醸成 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「安全はすべてに優先する」の浸透 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 各事業所での周知と理解度調査の確実な実施 1-2. 各事業所での基本ルール明確化と再徹底 2. 安全文化の醸成 <ol style="list-style-type: none"> 2-1. 安全文化醸成計画の実行と仕組みの定着 3. 変更管理の対応力強化(特に化学グループ会社) <ol style="list-style-type: none"> 3-1. 変更管理の対象の明確化とリスク評価の深化 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「安全はすべてに優先する」の浸透 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 「安全はすべてに優先する」理解度評価ガイドライン策定、理解度調査実施 1-2. 各事業所は基本ルールの明確化と再徹底を実施 2. 安全文化の醸成 <ol style="list-style-type: none"> 2-1. 活動状況を監査で確認、指導 2-2. 各事業所は自ら設定した安全文化の改善目標に沿って活動継続中 3. 変更管理の対応力強化(特に化学グループ会社) <ol style="list-style-type: none"> 3-1. 変更管理の手順、実施状況を監査で確認、指導 3-2. 各事業所は手順に基づいた変更管理を実施中
労働安全衛生	労働安全 <ol style="list-style-type: none"> 1. 重大災害の撲滅 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 重大リスク対策実施の継続(対策の確実な実施) 1-2. 請負協力会社と一体となった安全活動の推進(有効性の向上) 1-3. 安全意識の向上に向けた教育・訓練の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重大災害の撲滅 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 各事業所で重大災害につながるリスクが潜在する作業を抽出、リスク低減(本質安全化等)の計画を策定、実施中 1-2. 各事業所で請負協力会社との合同パトロール、安全会議への参加、監査の強化等を環境安全管理計画に盛り込み、一体となった安全活動を推進中 1-3. 各事業所で安全意識の向上に向けた教育・訓練を環境安全管理計画に挙げ、推進中
	職場環境改善 <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場環境改善の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 要改善(第II、III管理区分)職場の対策の強化 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場環境改善の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 騒音対策については、対象職場を見直し、管理領域を拡大
保安防災	設備事故ゼロ <ol style="list-style-type: none"> 1. 設備事故ゼロ(類似事故の再発防止) <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 事故情報の共有化と水平展開の推進 1-2. 設備の維持管理の強化 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設備事故ゼロ(類似事故の再発防止) <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 事故情報連絡会にて、事故事例の共有および水平展開を実施 1-2. 保安管理連絡会にて、社内で指定した安全管理特別指導事業場の活動事例の共有および水平展開を実施
	環境事故ゼロ <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境事故ゼロ <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 環境リスクの抽出と環境リスク低減策の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境事故ゼロ <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 環境リスク低減策を確実に実施し、環境事故の発生防止(「環境事故対策に関するガイドライン」を活用し、環境に関するリスク抽出およびリスク低減策を実施)
	高圧ガス事業所の保安力向上 <ol style="list-style-type: none"> 1. 高圧ガス認定事業所(UBEエラストマー含む)の保安力向上 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 保安力評価の活用強化による継続的改善の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高圧ガス認定事業所の保安力向上 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 保安力向上センターの評価および保安力自己評価結果から、事業所の課題を明確にし、改善計画の立案および実行
	自然災害対策 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然災害対策の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 各事業所の弱点の認識と実行計画推進 1-2. 宇部地区事業所共通の課題の認識と改善計画推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然災害対策の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 各事業所・グループ会社は新規3カ年実行計画を策定し、遂行中 1-2. 課題の抽出と現状評価を実施、通常管理へ移行
環境保全	環境リスクの低減 <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境リスクの低減 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 環境リスク低減策の推進と効果の確認 1-2. 他事業所への水平展開 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境リスクの低減 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 各事業所は、環境計器の追加設置や漏洩時の一時貯蔵タンクの追加設置を継続 1-2. 「環境事故対策に関するガイドライン」を作成し、各事業所にて課題抽出とリスク低減活動の水平展開を実施
地球環境問題	低炭素社会への貢献と対応 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球環境問題への取り組み強化 2. ESG評価向上への継続的貢献と社内人材の育成推進 3. 製品別GHG排出量開示に向けた基盤整備 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球環境問題の目標達成に向けた対策の立案・実施 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 2022年度GHG排出量は、382万tCO₂(UBEグループ) 1-2. 2022年度環境貢献型製品・技術の売上高比は46%(UBEグループ) 2. 地球環境問題に対する社員教育 <ol style="list-style-type: none"> 2-1. 事業所への環境教育実施(2カ所) 2-2. 全社員向けe-ラーニング実施 3. 各事業所データ収集の効率化 <ol style="list-style-type: none"> 3-1. 製品別GHG原単位算出のロジック完了 3-2. 製品別GHG原単位算出のシステム化フェーズ1完了
	環境負荷の継続的削減 <ol style="list-style-type: none"> 1. 中期目標の達成に向けた改善計画の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 産業廃棄物の削減 <p>指標：外部埋立処分量 2022年度目標：85%削減(2000年度比)</p> 1-2. 化学物質の排出抑制 <p>指標：20種類の重点化学物質*2排出総量 2022年度目標：35%削減(2010年度比)</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. 外部埋立処分量の削減 <p>2022年度実績：84%削減(2000年度比) 埋立処分量や中間処理量の経年推移はP11に掲載</p> 1-2. 20化学物質の排出削減 <p>2022年度実績：38%削減(2010年度比) PRTR法*3対象物質やVOC*4の経年推移はP12に掲載</p>
環境安全 監査・査察	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境安全監査・査察の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境安全監査・査察の実施 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 本社監査8事業所、機械部門監査4事業所で実施 1-2. 本社査察6事業所、機械部門査察1事業所で実施
地域との対話	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のステークホルダーとの対話を推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のステークホルダーとのRC地域対話**を開催 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 第14回RC千葉地区地域対話(書面開催):「千葉県の環境行政におけるSDGsの取り組み」(千葉県環境政策課)、発表会社2社(日本曹達(株)、広栄化学(株))、アンケート集計 1-2. 第17回宇部地区RC対話集会(ウェブ開催):「[宇部方式]と「環境保全協定」について」(宇部市市民環境部環境政策課)、「会員企業の活動報告」(UBE(株)宇部ケミカル工場東西地区、藤曲地区、テクノUMG(株)宇部事業所、セントラル硝子(株)宇部工場)

自己評価	2023年度 活動計画	SDGs	RC*1コード
★★	1. 「安全はすべてに優先する」の浸透 1-1. 各事業所での周知と理解度調査の確実な実施 1-2. 各事業所での基本ルール明確化と再徹底 2. 安全文化の醸成 2-1. 安全文化醸成計画実行の有効性評価 3. 変更管理の対応力強化 3-1. すべてのグループ会社に変更管理の仕組み定着	—	—
★★	1. 重大災害の撲滅(労働災害半減、休業災害ゼロ) 1-1. 重大リスク対策(本質安全化)の推進 1-2. 請負協力会社と一体となった安全活動の推進 1-3. 安全意識の向上に向けた教育・訓練の推進		労働安全衛生
★★	1. 職場環境改善の推進 1-1. 要改善職場の措置の改善継続 1-2. 化学物質自律管理体制の構築	—	—
★★	1. 設備事故ゼロ(類似事故の再発防止) 1-1. 事故情報の共有化と水平展開の継続 1-2. 設備維持管理強化の継続		—
★★	1. 環境事故ゼロ 1-1. 改善計画に基づく環境リスク低減策の推進 1-2. 事故情報の共有化と水平展開	—	保安防災
★★	1. 高圧ガス認定事業所の保安力向上 1-1. 継続的改善の実施および確認	—	—
★★	1. 自然災害対策の推進 1-1. 自然災害対策実行計画の推進継続 1-2. グループ会社の取り組みの強化	—	—
★★	1. 環境事故ゼロ 1-1. 環境リスクの抽出と環境リスク低減策の推進		—
★★	1. 地球環境問題への取り組み強化 2. ESG評価向上への継続的貢献と社内人材の育成推進 3. 製品別GHG排出量開示に向けた基盤整備	    	環境保全
★★	1. 中期目標の達成に向けた改善計画の推進 1-1. 外部埋込分量 2023年度目標: 87%削減(2000年度比) <u>「産業廃棄物の削減」の中期目標はP11に掲載</u> 1-2. 20化学物質の排出総量 2023年度目標: 29%削減(2010年度比) <u>「化学物質の排出抑制」の中期目標はP12に掲載</u>	  	—
★★★★	1. 環境安全監査・査察の実施	—	マネジメントシステム
★★★★	1. 地域のステークホルダーとの対話を推進		社会との対話

用語解説

*1 RC(レスポンシブル・ケア): 化学物質を取り扱う企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表して社会との対話・コミュニケーションを行う活動。

*2 20種類の重点化学物質: PRTR法対象物質やVOCなどの中から、排出量の多い20種類の化学物質を全社の重点物質として選定。選定した20化学物質は、メチルアルコール、ブチルアルコール、トルエン、イプシロン-カプロラクタム、スチレン、アンモニア、シクロヘキサン、シクロヘキサノン、しゅう酸、酢酸ビニル、キシレン、n-ヘキサン、エチルベンゼン、クロロメタン、ベンゼン、フタル酸ジメチル、N、N-ジメチルアセトアミド、ほう酸化合物、フェノール、ふっ化水素およびその水溶性塩。

*3 PRTR法(Pollutant Release and Transfer Resister): 事業所から排出・移動した化学物質の量などを把握し、行政に届け出することを義務づけた法律。届け出された情報は環境省のウェブサイト公開される。情報の公開を通して、自主的な化学物質の管理の改善を促進することを目的として制定された。

*4 VOC(Volatile Organic Compounds): 揮発性を有し、大気中で気体となる有機化合物の総称。浮遊粒子状物質および光化学オキシダントの生成原因となる。

*5 RC地域対話: 一般社団法人日本化学工業協会RC委員会の地区会員企業が、地域のステークホルダー(地域住民、市民団体、行政関係者など)と、RC実施項目(環境保全、保安防災など)への取り組みについて相互理解を深めるために、各地区において開催する対話集会。